

## 電子工学国際インターンシップ2の実施(タイでの実施)

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2019年09月01日 ~2019年09月11日	タイ	キングモンクット工科大学 トンプリ校	・電子工学科 ・学部3年生、学部4年生、学部3年生	(芝浦工業大学) 学生10名、TA1名、教員2名 (キングモンクット工科大学トンプリ校) 学生12名、TA1名、教員4名、職員1名	小池 義和(電子工学科)



図1 Ice break

2019年度電子工学科主催のgPBLの実施と参加学生の引率のため、タイ・バンコクにあるKMUTTのENE学科を訪問した。今回が5回目のgPBLであり、電子工学科の専門科目「電子工学国際インターンシップ2(選択科目, 2単位)」での実施となっている。芝浦側では20名の応募があり、面談により11名選抜したが、1名事情により辞退となった。そのため、最終的に芝浦側の参加者は10名であり、KMUTTからは12名の参加により実施された。SITのグループは事前に2名のペアに分かれ、各ペアがPBLの実施内容の企画書を作成し、KMUTT側にPBL実施前に送付している。KMUTT側も2、3名のグループにわかれ、芝浦から送られてきた企画書を見て混成チームを構成する相手を決定している。チーム分けは事前に終了しており、全部で5チームの混成チームが構成された。空港到着時に、KMUTT学生4名が空港に迎えに来てくれており、簡単な挨拶と両替をすました後、KMUTTが手配してくれた3台のVanでKMUTTキャンパス内のHeliconia Houseに向かって、チェックインを行った。チェックイン後、芝浦の学生と自分とKMUTTの学生でタイの簡易タクシー、ガポーでレストランに移動し、タイの学生と簡単な食事会を行い、食事後ホテルに戻ってその日は終了となった。翌日、朝10時開始で、簡単にPBLの概要の話をENE学科のAupong先生、Kamon先生が簡単に概要の話をした後、学科長のSuwat先生が挨拶した。その後、KMUTTの学生が司会でIcebreakを行い、かなり打ち解ける雰囲気となった。その後、昼食を挟んでキャンパスツアーの後、KMUTTとSITのそれぞれのチームが用意してあるプランを元にPBLのテーマについて話し合いを行い、翌日行われるDesign Reviewのスライド作成に取り組んでもらった。PBLで取り組むテーマは、今年度もGTIコンソーシアム参加企業の高見沢サイバネティクス社からの提案である視覚障害者用の新しいガイドシステムと未来のセキュリティゲートシステムに関連した内容である。翌日の午前中、9時30分頃からDesign Reviewが行われた。発表は各チーム10分~15分程度で行われ、2チームが視覚障害者用のシステムに取り組み、3チームがセキュリティゲートシステムに取り組む



図2 Workshop



図3 Guidance



図4 Final Presentation